

ICSM 2022での研究発表



目で見る
海外論文発表

鷓野 弦也*

Presentation at ICSM2022

Key Words : Perovskite solar cell

<参加会議名>

International Conference on the Science and Technology of Synthetic Metals (ICSM) 2022

<開催場所> スコットランド・グラスゴー

<渡航期間>

2022年7月16日~2022年7月23日

<発表タイトル>

Obliquely Oriented 2D Perovskite in 2D/3D Heterostructure by Templated Growth on 3D Perovskite

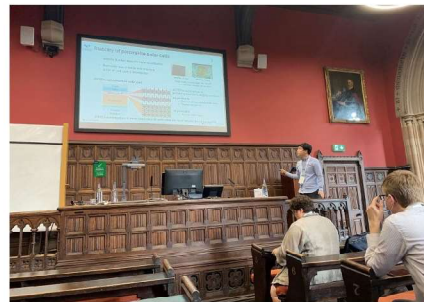
本会議は過去40年以上にわたる長い歴史を持つ、有機エレクトロニクス分野における世界最大規模の国際会議です。今回はスコットランドの University of Glasgow で開催され、分野を代表する研究者が口頭発表・ポスター発表を行いました。

今回私は、ペロブスカイト太陽電池の新たな高耐久化手法について口頭発表を行いました。従来この会議で口頭発表は、ほぼ教員のみに限られていたため、今回は大変貴重な機会をいただきました。発表では大変多くの質問をいただき、発表後にも個別に質問を受けるなど、有意義な議論を行うことができました。

また、今回の ICSM2022 では、延期となっていた ICSM2020 の研究発表も行われました。私は博士前

期課程当時の研究である、“Solution-processed fabrication and highly dichroic property of singlecrystalline ultrathin film of tetra-tert-butylated phthalocyanine” という題目の口頭発表も行いました。初めて出張する海外の国際会議において2件の口頭発表を行うことになり、発表の準備は大変でした。しかし、今回の出張は英語でのコミュニケーションや国際交流という点においても非常に有意義な経験になりました。

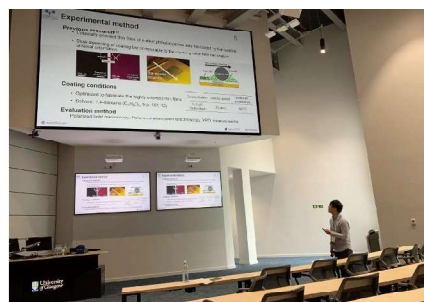
最後に、このような貴重な機会のご支援を賜りました、生産技術振興協会に深く御礼申し上げます。



口頭発表の様子



質問を受けて
議論している様子



他の題目での
口頭発表も
行いました



* Genya UZURANO

1997年3月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 電気電子
情報通信工学専攻 博士前期課程修了
(2020年)

現在、大阪大学 大学院工学研究科 電
気電子情報通信工学専攻 大学院生
修士(工学) 専門/有機系太陽電池

TEL : 06-6879-4837

FAX : 06-6879-4838

E-mail : guzurano@opal.eei.eng.osaka-u.ac.jp